

【様式 2】

学校関係者評価書

佐賀県立唐津青翔高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和 3 年 3 月 1 日 (月)

(2) 資料 (評価の参考とした資料)

- ・ 令和 2 年度学校評価結果
- ・ 第 2 回学校評価アンケート

(3) 評価者 学校評議員 3 名

2 評価

(1) 学校運営について

① 目標の妥当性及び達成状況

目標は妥当と概ね思われる。学校現場は人を相手にしているので簡単に業務改革を行うのは大変と思うが、是非働き方改革を推進してほしい。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

新型コロナの感染者が出たがクラスターにならずに良かった。学校の適切な対応の成果だと評価する。

③ 改善方策の適切さ

「いじめを許さない・見逃さない学校づくりができている」とする職員が 80 % だが、残りの職員はいじめを見逃しているのか。

→ 残り 20 % の職員は学校の体制づくりがまだ不十分という認識である。

(2) 教育活動について

① 目標の妥当性及び達成状況

学校独自で設定した目標は県で指定された目標と同様に妥当であった。

達成状況は、「概ね達成できている」項目が多いが、目標値が高かった項目について、達成がやや不十分だったようである。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

生徒、保護者及び職員を対象に学校評価アンケートを 2 回実施し、適正に自己評価を行っている。

③ 改善方策の適切さ

「ICT の利活用」、「心の教育」、「キャリア教育・進路指導」において改善または成果がみられるが、「基礎学力の向上」、「健康・体づくり」、「環境美化」については「やや不十分である」のままで改善されていないことが問題である。

3 その他学校に対する意見や提言

・ 入試の志願者を増やすためには、中学校の説明会でもっと総合学科の特色や求人状況を知ってもらえるよう働きかけていくべきである。

・ 部活動の加入率を上げるためには、既存の部活動にこだわらず生徒のニーズに合った活動を取り入れていくのも方策である。